

講演会・例会のご案内

(1月10日～3月9日)

カリキュラムコード(略称：CC)

医師のプロフェッショナルリズム	1 全身倦怠感	18 けいれん発作	35 胸やけ	52 不安	69
医療倫理：臨床倫理	2 身体機能の低下	19 視力障害、視野狭窄	36 腹痛	53 気分の障害(うつ)	70
医療倫理：研究倫理と生命倫理	3 不眠	20 目の充血	37 便通異常(下痢、便秘)	54 流・早産および満期産	71
医師-患者関係とコミュニケーション	4 食欲不振	21 聴覚障害	38 肛門・会陰部痛	55 成長・発達の障害	72
心理社会的アプローチ	5 体重減少・るい瘦	22 鼻漏・鼻閉	39 熱傷	56 慢性疾患・複合疾患の管理	73
医療制度と法律	6 体重増加・肥満	23 鼻出血	40 外傷	57 高血圧症	74
医療の質と安全	7 浮腫	24 嘔声	41 褥瘡	58 脂質異常症	75
感染対策	8 リンパ節腫脹	25 胸痛	42 背部痛	59 糖尿病	76
医療情報	9 発疹	26 動悸	43 腰痛	60 骨粗鬆症	77
チーム医療	10 黄疸	27 心肺停止	44 関節痛	61 脳血管障害後遺症	78
予防と保健	11 発熱	28 呼吸困難	45 歩行障害	62 気管支喘息	79
地域医療	12 認知能の障害	29 咳・痰	46 四肢のしびれ	63 在宅医療	80
医療と介護および福祉の連携	13 頭痛	30 誤嚥	47 肉眼的糖尿	64 終末期のケア	81
災害医療	14 めまい	31 誤飲	48 排尿障害(尿失禁・排尿困難)	65 生活習慣	82
臨床問題解決のプロセス	15 意識障害	32 嚥下困難	49 乏尿・尿閉	66 相補・代替医療(漢方医療を含む)	83
ショック	16 失神	33 吐血・下血	50 多尿	67 その他	0
急性中毒	17 言語障害	34 嘔気・嘔吐	51 精神科領域の救急	68	

開催日	場所	名称	講師	CC	問合せ先 参加費
01/12 (水) 19:15	西原町(Web講演会)	沖縄県整形外科医会学術講演会(Web講演会) (日 医生涯教育講座) 琉球大学手外科診療の今～外傷性末梢神経損傷の治療を含めて～	大久保 宏貴(琉球大学大学院医学研究科整形外科学講座助教)	10)0.5単位 57)0.5単位	沖縄県整形外科医会 小渡 098-895-1174 参加費 参加費1,000円
01/20 (木) 19:00	Zoomを使用しているオンライン開催	令和3年度 那覇市在宅医療・介護連携推進事業 第5回在宅医療・介護スクラム塾(多職種連携研修会) (日 医生涯教育講座) 『摂食嚥下・口腔ケア』	高良 孔明氏(高良歯科医院 副院長)	47)0.5単位 48)0.5単位 49)0.5単位	那覇市医師会 那覇市在宅医療・介護連携支援センター ちゅいしーじー那覇 098-860-5666 参加費 なし
01/21 (金) 18:00	浦添市(Web講演会)	高齢者と認知症の睡眠障害(Web講演会) (日 医生涯教育講座) 高齢者と認知症の睡眠障害	普天間 国博(琉球大学病院精神科神経科助教)	20)1.0単位 70)0.5単位	沖縄県認知症疾患医療センター 真栄田・城間 098-895-1765 参加費 なし
02/24 (木) 19:00	那覇市(Web講演会)	第47回うふいち会(Web講演会) (日 医生涯教育講座) ①沖縄県の閉塞性呼吸器疾患の現状～OACSの活動も含めて～(仮) ②喘息・ACO・COPD～トリプル吸入剤の役割～(仮)	①原永 修作(琉球大学病院総合臨床研修・教育センター診療教授) ②松本 久子(近畿大学内科学教室呼吸器・アレルギー内科主任教授)	①12)0.5単位 ②46)1.0単位	アストラゼネカ(株) 澤田 凌 070-2276-4270 参加費 なし

※最新の情報はホームページで逐次更新していますので、ご確認ください。

※お願い：3月10日～5月9日迄の講演会例会等が決まれば、1月25日迄に業務1課(098-888-0087)へご一報下さい。

令和3年度 沖縄県医師会産業医研修会

日時	場所	基礎研修	生涯研修	カリキュラム (付与単位数)	単位	講師名	講師所属	研修テーマ	備考
H 1月19日(水) 18:30～21:30	沖縄県医師会館 3階ホール	後期	専門	(1)総論	1.5	(1)青木 一雄	(1)沖縄産業保健総合支援センター所長	(1)産業医の役割と職務～産業保健の現状と今後の展望～	
		後期	専門	(2)健康管理	1.5	(2)崎間 敦	(2)琉球大学保健管理センター所長・沖縄産業保健総合支援センター産業医学相談員	(2)With CORONA 時代における健康管理	
I 1月29日(土) 15:00～18:00	沖縄県医師会館 3階ホール	後期	専門	(1)メンタルヘルス対策	1.5	(1)山本 和儀	(1)山本クリニック院長・沖縄産業保健総合支援センターメンタルヘルス相談員	(1)With&Post コロナ時代の職場メンタルヘルス対策～メンタルヘルス不調の1次予防から復職支援までのupdate～	
		後期	更新	(2)労働衛生関係法規と関係通達の改正	1.5	(2)加藤 浩司	(2)社会保険労務士・医療勤務環境改善支援センター アドバイザー	(2)働き方改革における、安衛法等の改正動向と労務管理上の諸課題～副業・兼業の促進に関するガイドライン等について～	

※単位制の研修につき、時間厳守でお願いします。遅刻や途中退室は単位認定ができませんのでご注意ください。

※研修テーマ等は変更になる場合があります。

沖縄県医師会業務1課行 FAX(098-888-0089)

研修会参加申込票

参加希望の研修会に○印を付けてください。

申込み研修	H	令和4年1月19日(水)	
	I	令和4年1月29日(土)	
参加申込者氏名			
施設名			
TEL			
FAX			
Mailアドレス			
認定区分	認定医 ・ 未認定医		
有効期限 ※認定医の場合	年 月 日		

※申込後にキャンセルする場合は、お早めにご連絡をお願い致します。

※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策のため人数制限等により、受講できない場合もありますのでご了承ください。

沖縄県医師会 業務1課
担当:新垣・平木
TEL:098-888-0087
FAX:098-888-0089

嘱託産業医活動情報書

沖縄県医師会では、産業医としての契約を希望される先生方へ、紹介依頼のあった事業場をご案内いたします。
 ご登録を希望される場合は、下記事項に記入いただき提出をお願い致します。
 ※事業場との契約内容（報酬等）については、事業主と産業医の相談により決定となります。
 ※本情報書に記載いただいた内容については、事業場へお伝えいたしますので、予めご了承ください。

申込み日 年 月 日 ()

ふりがな		診療科目	
産業医氏名			
医療機関名		希望連絡方法	<input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> 電話
住 所			
電話番号		F A X	
メールアドレス			
所属医師会名	県	地区医師会名	
	<input type="checkbox"/> 所属なし ※本会会員以外の先生は医師免許証の写しを提出願います。		

嘱託産業医を受託する際のご希望をお聞かせ下さい。

項 目	ご 希 望 条 件
実施可能件数	1件 ・ 2件 ・ 3件 ・ 4件 ・ 5件以上
事業所規模	従業員数 ① 50人～99人 ② 100人～149人 ③ 150人以上
業種について	①建設業 ②製造業 ③運送業 ④サービス業 ⑤IT業 ⑥その他 () ⑦特になし
活動希望地区	①北部 ②中部 ③南部 ④那覇市内 ⑤本島全域 ⑥離島可
事業所への訪問、実施曜日 (事業所訪問は基本月1回)	①企業の都合に合わせる ②双方相談のうえ調整
活動可能な曜日・時間 について	① 月・火・水・木・金・土・日 ②第()曜日 ③指定なし 希望時間帯(午前・午後・時以降・特になし)
ストレスチェックの 実施者 になること について	① 承諾する ②承諾しない ③要相談
ストレスチェックの 共同実施者 になる ことについて	① 承諾する ②承諾しない ③要相談
ストレスチェック後の高ストレス者 に対する面接指導について	① 実施可能 ②実施不可 ③要相談
地区医師会との情報共有	① 許可する ②許可しない

メモ欄

<連絡先> 沖縄県医師会 業務1課(産業医担当)
 TEL : 098-888-0087 FAX : 098-888-0089
 Mail: g1@okinawa.med.or.jp

医師の働き方改革応援特報版

(特報版 2021. 03)

沖縄県医療勤務環境改善支援センター

(略称：勤改センター)

事業実施者：沖縄県社会保険労務士会

委託者：沖縄県保健医療部医療政策課、沖縄労働局雇用環境均等室

事業の期間：令和3年4月1日～令和4年3月31日まで

▼医療勤務環境改善支援センターとは？

・当センターは、改正医療法（H26年）により設置されており、一昨年度までは沖縄県医師会様が受託、運営していました。昨年度8月1日以降は沖縄県社会保険労務士会が運営を行っています。また県主催の運営協議会において広く意見を聞きながら運営されます。

(運営協議会を構成する諸団体) ※敬称略、順不同、令和元年度実績による

沖縄県医師会/沖縄県看護協会/沖縄県/沖縄労働局/医療経営コンサルタント協会沖縄県支部/沖縄県社会保険労務士会

▼この事業では医師の働き方改革への取組みを応援します！

・当センターでは、医療機関からの労務管理に関するご相談に対して、電話、メール、訪問などの方法で応じています。特に「医師の働き方改革支援」「BC水準指定の取組み支援」に力を注いでいます。当センターは皆さまと一緒に課題解決に取り組めます。

・医療勤務環境改善マネジメントシステム導入の支援・医療機関における勤務環境の自主的な改善を促すPDC Aサイクルの導入と定着を支援します

・BC水準の認定に向けた相談・支援・例：医師の労働時間短縮計画の策定に関すること

・医師の労働時間短縮に向けた取組みの相談・支援・例：厚労省が行う医師の労働時間短縮に向けた緊急的な取組に関すること

・院内での労務管理に関する勉強会・研修会・WS(ワークショップ)などへの講師派遣

※ご相談時の病院名、相談者名、内容は労働局・労働基準監督署に報告しません。

▼私たちにお声掛けください！▼

相談受付：沖縄県医療勤務環境改善支援センター事務室

電話 098-988-1430 (案件をお聞きして担当から連絡します)

(住所) 那覇市泊2丁目T&Gビル601B

直通：事業担当 社会保険労務士 加藤 浩司

(携帯) 090-6426-0854

(取れない場合は留守番電話に要件、連絡先をお入れください。担当加藤より折返し連絡します)

(メール) Koji-koji@mug.biglobe.ne.jp

沖縄県医療勤務環境改善支援センターの設置と概要

- ・ 設置日：2020年8月1日設置（令和1年度まで沖縄県医師会様が受託）
- ・ 場 所：那覇市泊2丁目T&Gビル601-B
- ・ 電 話：098-988-1430（平日9時～5時まで開所）
- ・ メール：contact.med@okinawa-med-kinmukaizen.jp
- ・ URL：www.okinawa-med-kinmukaizen.jp

- ・ 相談は、訪問または近隣の沖縄県社労士会会議室などを利用できます。
- ・ アドバイザー14名が登録（内6名が交替でセンターで執務）
（※14名は社会保険労務士、その他経営面の相談に対しては
医療経営コンサルタント協会に対応を依頼します）



勤改センターでの相談のポイント

- ポイント①：医療機関との信頼関係構築を第1に。
- ポイント②：医療機関の自主的な改善が前提です。
- ポイント③：すべての医療従事者が事業対象です。



沖縄県医療勤務環境改善支援センターの活動のご紹介（R2年度の実績）

<相談件数>

前年度85件/年間

月	相談受付	訪問相談	院内研修	個別支援
8月	5	3		
9月	2	2	1	1
10月	4	2		3
11月	4	2		1
12月	9	6	1	2
1月	5	2		3
2月	4	2	1	4
3月	2	1		4
小計	35	20	3	18

※相談受付件数は、訪問相談件数を含んだ数です。

- これまで、沖縄県勤改センターでは、、、
- ・ 病院長懇談会など関係者との丁寧な連携実施
 - ・ 局監督課長、監督官などによる情報提供をコーディネート
 - ・ 労務管理者向けセミナー、全医療機関向け広報などに注力

<相談内訳>

労働時間(把握、宿日直、残業など)	8	23%
医師の働き方改革について	6	17%
ハラスメントについて	5	14%
休業(新型コロナ、休業手当含む)	3	9%
労働条件・労働契約	3	9%
人材育成・定着(人事考課含む)	3	9%
育児・介護休業の関係	1	3%
同一労働同一賃金	1	3%
タスクシフト	1	3%
安全衛生管理体制	1	3%
異動	1	3%
懲戒	1	3%
休職	1	3%
小計	35	100%

沖縄県医療勤務環境改善支援センターの活動について（R3年度のメニュー）

(1) 相談活動（窓口相談・訪問相談）

重点はBC水準指定事務の支援の取組み

(2) 個別支援

- ①医療勤務環境改善マネジメントシステムの普及促進（PDCAサイクル）
- ②BC水準の指定に関する意向確認活動
- ③BC水準（時短計画策定・36協定締結など）に関する個別相談活動
- ④BC水準の指定に関するモデル事業
- ⑤働き方税制（特別控除制度）の説明・援助活動

・漏れなくまわり丁寧な説明
・県内の参考事例を拾上げる
(時短計画、36協定様式、時短の取組、時間把握方法)

(3) 情報提供・関連団体との連携

- ①訪問・リーフレット・HP・関連団体への働き掛けなど
- ②労務管理改善に関するニュースの作成
- ③労務管理改善セミナー（労務管理担当者向け）
- ④BC水準指定に関するセミナー
- ⑤連携（県医師会、県看護協会、医業経営コンサルタント協会、県、労働局）

県・労働局・勤改センターから情報提供

- ポイント①：どの医療機関がBCの申請をするのか
ポイント②：36協定＝だれが、どれだけ残業するのか・・・「時間把握」が課題！
ポイント③：時短計画＝どうやって残業を減らすのか

重点活動（BC水準指定に関する援助）の具体化（構想）と問題意識とは？

(1) 訪問活動

- ①申請が予測される個別医療機関に意向と取組み状況を確認・利用勧奨
- ②継続的な援助を求められた場合に、月1回など定期的に訪問し援助
- ③モデル事業（継続的な支援とともに、取組の公開共有を目指す）
- ④スポット対応（求められた時に対応します）

WLB・産休育休・年休

契約形態(雇用,出向,委託,年休)

(2) 企画1：公的病院へのアプローチ

- ①管理層の協議体などで状況確認とセンター利用勧奨
- ②個別医療機関に対し、モデル事業での対応を打診（救急、離島、研修医の3パターンなど）
- ③継続的な援助と事例の蓄積、適時広報（出来るだけ県内での取りこぼしなく対応へ）

時間把握（宿日直・自己研鑽・兼業）

(3) 企画2：関係行政機関から具体的で正確な情報（遅くとも8月までに1回はどうか？）

※県から時短計画申請手続き、労働局から36協定注意事項、何がどこまで決まっているのか又いないのか

(4) 企画3：各医療機関の担当者の先生方の懇談会・情報共有・意見交換

※勤改センターから問題意識の提示も行いつつ、各病院の問題意識も交流、関連団体へフィードバックも
※いつまでに何をやるのが正解か不明で不安な状況（決して皆さまの取組は遅れていません）

(5) 企画4：事務長など事務担当の懇談会・情報共有・意見交換

※より実務的な問題での課題の抽出と解決策の模索（事務方のサポート力の向上を目指す）

沖縄県ドクターバンクからのお知らせ

常勤・非常勤での勤務先を探している、ベテランの技を活かしスポット勤務で働きたいとお考えの先生方、または産業医として勤務できる事業所をお探しの皆様！沖縄県ドクターバンクに登録してみませんか？当バンクでは多くの求人情報の中から、皆様のご希望に合う医療機関をご紹介します。

☆下記の登録票に必要事項をご記入の上、沖縄県医師会事務局 業務1課まで、FAXにてお申し込みください。

FAX 番号:098-888-0089

沖縄県ドクターバンク登録票 (医師用)

*項目は必須

受付登録日： 年 月 日 受付番号：

ふりがな *氏名	-----		*生年月日	(西暦) 年 月 日生	
*住所	〒 -				
*連絡先	電話(自宅または携帯)：				
	E-mail：				
*医籍登録日	年 月 日登録	保険医登録番号	医 号		
*医籍番号	第 号	*専門診療科			
資格	専門医資格	その他の資格			
*現在の状況	①就業中 ②休職中(産休・育休・病休) ③離職中 ④その他：				
現在の勤務先					
希望条件	就業形態	①常勤 ②非常勤(頻度 回/月程度) ③その他：			
	希望診療科				
	施設種別	①病院 ②診療所 ③その他：			
	希望地域	第1希望： <input type="checkbox"/> 那覇 <input type="checkbox"/> 南部 <input type="checkbox"/> 中部 <input type="checkbox"/> 北部 <input type="checkbox"/> 離島			
		第2希望： <input type="checkbox"/> 那覇 <input type="checkbox"/> 南部 <input type="checkbox"/> 中部 <input type="checkbox"/> 北部 <input type="checkbox"/> 離島			
	勤務希望時期	①今すぐ ②令和 年 月頃から ③未定			
	勤務時間	勤務可能な曜日	月・火・水・木・金・土・日		
		勤務可能な時間帯	時 分 ~ 時 分		
	当直勤務	①できる ②できない			
	希望業務内容	①病棟 ②外来 ③健診 ④パート ⑤臨時 ⑥産業医			
	給与	常勤務の場合	月給：	以上	
		非常勤の場合	日給：	以上	月給： 以上
		臨時の場合	時給：	以上	
保育所	①必要 ②必要なし				
再就業のための再研修	①必要 ②必要なし				
その他希望					

*氏名、住所等の個人が特定される情報につきましては、個人情報保護関連法令に則り開示・公表また無断流用は一切いたしません。

《提出・問合せ先》
〒901-1105 南風原町字新川218-9
沖縄県医師会事務局
業務1課 ドクターバンク担当
TEL.098-888-0087 / FAX.098-888-0089

医師年金

＜認可特定保険業者＞公益社団法人 日本医師会
ご加入のおすすめ

加入資格 64歳6カ月未満の日本医師会会員（会員区分は問いません）

☑ 年金検討チェックリスト

- 公的年金では現役時代の生活水準を維持できない
- コツコツ積立てて十分な年金を確保しておきたい
- 一生涯受け取れる年金が望ましい
- 受け取れる年金の額を効率的に増やしたい
- 医師独自のライフスタイルにあった年金がいい
- 加入前に受取年金額のシミュレーションを確認したい

1つでも該当したら…

医師年金ご加入をおすすめします！

医師年金ホームページで、
簡単シミュレーション！

医師年金 検索

<http://www.med.or.jp/nenkin/>

ご希望の受給額や保険料、生年月日を入力するだけで、簡単に受取年金月額のシミュレーションができます。
 ぜひお試しください。

個別プランの設計や詳しい資料のご請求はこちら



公益社団法人
日本医師会 年金・税制課

TEL : 03-3946-2121(代表) / 03-3942-6487(直通)

FAX : 03-3942-6503

受付時間 : 午前9時30分～午後5時(平日)

E-mail : nenkin@po.med.or.jp

保険料からプラン作成

保険料	
●基本・月払 加算：月払	月払保険料 60,000円
加算年金 (10万円)	
基本年金	月払保険料 12,000円
支払期間 24年 6ヶ月 (294回)	
合計月払保険料	72,000円

設定条件をご確認ください。

試算日	平成 27年 5月 7日
生年月日	昭和 50年 1月 1日
試算日年齢	40歳
加入申込期限	平成 27年 6月 15日
加入予定年月	平成 27年 7月
加入時年齢	40歳 6ヶ月
加算払込開始年月	平成 27年 7月
年金受取開始年月	平成 52年 1月
年金受取開始年齢	65歳
払込保険料累計	21,168,000円

注意事項です。お読みください。

- ・加入申込期限は、15日が土日・祝祭日の場合は、その前日となります。
- ・「終身年金」は、加入者ご本人であれば一生涯受け取ることができます。
- ・「保証期間15年」では、受給者ご本人が保証期間中にお亡くなりになった場合、15年の残りの期間について、ご遺族の方が必ず受け取ることができます。
- ・「受取コースの選択(別添3表)」は、受取開始の権利お決めいただきます。
- ・受取開始年齢は、75歳まで延長できます。
- ・「受取年金月額」は概算です。現在は年利1.5%での計算となっており、将来、年金の制度改定が行われる時は、変更になる場合があります。

受給年金	
●B1コース	保証期間15年 終身
加算年金	86,100円
基本年金	17,200円
受取月額	103,300円
15年受取総額	18,594,000円
●B2コース	保証期間15年 終身
加算年金	369,600円
基本年金	17,200円
受取月額	386,800円
15年受取総額	25,212,000円
●B3コース	保証期間15年 終身
加算年金	10年保証型
基本年金	191,100円
受取月額	208,300円
15年受取総額	26,028,000円
●B4コース	保証期間15年 終身
加算年金	132,100円
基本年金	17,200円
受取月額	149,300円
15年受取総額	26,874,000円

日本医師会が運営する医師のための私的年金

日本医師会 **医師年金**

[トップページへ](#) [サイトマップへ](#)

[個人情報保護方針](#) [重要事項のお知らせ](#)

▶ 医師年金の特長
▶ 医師年金のしくみ
▶ 医師年金シミュレーション
▶ よくあるご質問
▶ 手続きガイド
▶ お問い合わせ・資料請求

医師年金シミュレーション

▶ 保険料からシミュレーション

▶ 受給年金からシミュレーション

ホーム → 医師年金シミュレーション

医師年金シミュレーション

1

保険料からシミュレーション

ご希望の保険料を入力すると、
受給する年金額の概算が試算できます。

2

受給年金からシミュレーション

ご希望する年金額を入力すると、
保険料の概算が試算できます。

3

マイページ登録

お名前、生年月日、メールアドレスで簡単に登録できます。

[※仮申し込み登録までの流れはこちら](#)

4

マイページへログイン

シミュレーションの結果を最大5件まで保存できます。
年金の受取開始年齢の延長や、加算保険料増額の際の試算等、詳細なシミュレーションが可能です。

日医ホーム
ページから
の場合

日本医師会

医師年金

スマホ・パソコンで簡単手続き

加入資格は日本医師会会員で64歳6カ月未満の方です
(申込みは、満64歳3カ月までをお願いします。)

医師年金HP画面

アニメーションで仕組みを確認

シミュレーションで保険料を試算

一括払専用加入申込書プリントアウトで
申込み(保険料のお支払いは後日ご案内します)

※重要事項説明書をよくお読み下さい(申込書の3、4ページに記載)

お問い合わせ先

日医年金・税制課 ☎ 03-3942-6487(直) (平日9時半～17時)

総目次

沖縄県医師会報 総目次

Vol.56 No.12・Vol.57 No.1～Vol.57 No.10・11

通巻 620～625号

表紙写真

	Vol.	No.	頁 (通巻頁)
『雪の兼六園』……………長嶺胃腸科内科外科医院 長嶺 信夫 ……	56・57	12・1	
『朝焼け』……………アワセ第一医院 浜端 宏英 ……	57	2・3	
『蜜を吸うオオゴマダラ』……………浦添総合病院 藏下 要 ……	57	4・5	
『希望の虹』……………北中城若松病院 涌波 淳子 ……	57	6・7	
『ミヤマキンボウゲ群落と白馬岳登山』……………とよみ生協病院 原国 政裕 ……	57	8・9	
『圧倒される美しさ』……………伊志嶺整形外科 伊志嶺 隆 ……	57	10・11	

年頭所感

年頭所感……………沖縄県医師会会長 安里 哲好 ……	56・57	12・1	3	(3)
令和3年 年頭所感……………日本医師会会長 中川 俊男 ……	56・57	12・1	5	(5)

退任の挨拶

県医師会理事を退任するにあたって……………前理事 (南部クリニック) 城間 寛 ……	57	8・9	2	(442)
--	----	-----	---	-------

就任の挨拶

理事就任のご挨拶……………理事 (糸満晴明病院) 稲富 仁 ……	57	8・9	4	(444)
----------------------------------	----	-----	---	-------

報 告

〈沖縄県医師会関連〉

令和2年度女性医師の勤務環境整備に関する病院長等との懇談会……………理事 涌波 淳子 ……	56・57	12・1	6	(6)
……………琉球大学病院周産母子センター 銘苺 桂子 ……	56・57	12・1	11	(11)
首里城火災復旧支援金贈呈～沖縄県知事へ支援金贈呈～……………常任理事 稲田 隆司 ……	56・57	12・1	12	(12)
第130回沖縄県医師会医学会総会……………広報担当理事 久貝 忠男 ……	57	2・3	2	(148)
令和2年度第1回地区医師会長会議……………常任理事 稲田 隆司 ……	57	4・5	2	(234)
第14回 沖縄県医師会ドクターズフォーラム「開業を考える」……………理事 涌波 淳子 ……	57	6・7	2	(310)
……………沖縄県医師会女性医師部会 副部長 新垣 紀子 ……	57	6・7	8	(316)
沖縄県交通遺児育成募金の贈呈について……………会長 安里 哲好 ……	57	6・7	9	(317)
第219回一般社団法人沖縄県医師会臨時代議員会……………常任理事 稲田 隆司 ……	57	6・7	10	(318)
第131回沖縄県医師会医学会総会……………広報委員 屋良さとみ ……	57	8・9	5	(445)
第220回一般社団法人沖縄県医師会定例代議員会……………常任理事 稲田 隆司 ……	57	8・9	16	(456)
沖縄県医師協同組合 第30回通常総代会……………沖縄県医師協同組合 専務理事 稲田 隆司 ……	57	10・11	17	(569)

	Vol.	No.	頁 (通巻頁)	
〈日医関連〉				
令和2年度第1回都道府県医師会会長会議 (TV 会議) …………… 会長	安里	哲好 …… 56・57	12・1 16 (16)	
令和2年度第51回全国学校保健・学校医大会 in 富山 …………… 理事	白井	和美 …… 57	2・3 16 (162)	
…………… 琉球大学病院 リハビリテーション部講師	神谷	武志 …… 57	2・3 16 (162)	
…………… 琉球大学大学院医学研究科 育成医学講座	兼次	拓也 …… 57	2・3 17 (163)	
令和2年度第2回都道府県医師会会長会議 (TV 会議) …………… 会長	安里	哲好 …… 57	2・3 19 (165)	
令和2年度第3回都道府県医師会会長会議 (TV 会議) …………… 会長	安里	哲好 …… 57	4・5 8 (240)	
日本医師会災害医療研修会ロジスティクス編報告				
…………… 沖縄県医師会災害医療委員会委員長	出口	宝 …… 57	4・5 13 (245)	
都道府県医師会医師の働き方改革担当理事連絡協議会 …………… 理事	涌波	淳子 …… 57	6・7 41 (349)	
令和3年度第1回都道府県医師会会長会議 (TV 会議) …………… 会長	安里	哲好 …… 57	8・9 27 (467)	
第149回日本医師会定例代議員会 …………… 理事	白井	和美 …… 57	8・9 32 (472)	
令和3年度都道府県医師会勤務医担当理事連絡協議会 …………… 理事	涌波	淳子 …… 57	10・11 24 (576)	
〈九医連関連〉				
九州医師会連合会第387回常任委員会 …………… 会長	安里	哲好 …… 56・57	12・1 20 (20)	
九州医師会連合会令和2年度第1回各種協議会				
地域医療対策協議会 …………… 副会長	宮里	善次 / 副会長	宮里 達也 …… 56・57	12・1 22 (22)
医療保険対策協議会 …………… 常任理事	平安	明 …… 56・57	12・1 24 (24)	
介護保険対策協議会 …………… 理事	涌波	淳子 …… 56・57	12・1 25 (25)	
九州医師会連合会第388回常任委員会 …………… 会長	安里	哲好 …… 57	2・3 24 (170)	
九州医師会連合会委員・九州各県医師会役員合同協議会 …… 常任理事	田名	毅 …… 57	2・3 26 (172)	
第120回九州医師会総会・医学会 …………… 理事	白井	和美 …… 57	2・3 28 (174)	
九州医師会連合会第5回九州ブロック災害医療研修会				
救急・災害医療担当理事連絡協議会 …………… 常任理事	田名	毅 …… 57	4・5 18 (250)	
九州医師会連合会第389回常任委員会 …………… 会長	安里	哲好 …… 57	4・5 20 (252)	
九州医師会連合会令和2年度第2回各種協議会				
地域医療対策協議会 …………… 副会長	宮里	達也 …… 57	4・5 23 (255)	
医療保険対策協議会 …………… 常任理事	平安	明 …… 57	4・5 24 (256)	
介護保険対策協議会 …………… 理事	涌波	淳子 …… 57	4・5 25 (257)	
九州医師会連合会第390回常任委員会 …………… 会長	安里	哲好 …… 57	8・9 33 (473)	
九州ブロック日医代議員連絡会議 …………… 副会長	宮里	善次 …… 57	8・9 36 (476)	
九州医師会連合会第391回常任委員会 …………… 会長	安里	哲好 …… 57	10・11 29 (581)	
九州医師会連合会第392回常任委員会 …………… 会長	安里	哲好 …… 57	10・11 32 (584)	
第65回九州ブロック学校保健・学校医大会				
令和3年度九州学校検診協議会 (年次大会) …………… 理事	白井	和美 …… 57	10・11 34 (586)	
九州医師会連合会第393回常任委員会 …………… 会長	安里	哲好 …… 57	10・11 40 (592)	

受賞の喜び

沖縄県功労者表彰を受賞して …………… クリニック絆 院長	友寄	英毅 …… 56・57	12・1 28 (28)
日本医師会最高優功賞を受賞して …………… まちだクリニック	町田	宗孝 …… 56・57	12・1 30 (30)

//////////////////// 総目次 //////////////////////

	Vol.	No.	頁 (通巻頁)
保健衛生功労 瑞宝小綬章を受章して……………特定医療法人アガペ会 田頭政三郎 ……	56・57	12・1	32 (32)
旭日双光章を受章して……………沖縄県健康づくり財団 理事長 金城 忠雄 ……	56・57	12・1	34 (34)
瑞宝小綬章を受章して……………名嘉病院 院長 名嘉 恒守 ……	56・57	12・1	36 (36)
瑞宝小綬章を受章して……………独立行政法人那覇市立病院 名誉院長 與儀實津夫 ……	56・57	12・1	37 (37)
「赤ひげ功労賞」を受賞して……………中村内科クリニック 中村 義清 ……	57	2・3	30 (176)
沖縄県医事功労者知事表彰を受賞して……………海邦病院 理事長 富名腰 徹 ……	57	2・3	32 (178)
沖縄県医事功労者知事表彰を受賞して ……………労働衛生コンサルタント・日本医師会認定産業医 伊礼壬紀夫 ……	57	2・3	34 (180)
厚生労働大臣功労者表彰を受賞して ……………山本クリニック院長/EAP 産業ストレス研究所所長 山本 和儀 ……	57	4・5	56 (288)

表紙写真年間グランプリ

清水隆裕先生「富士山」(令和2年1月号掲載)を表彰!! ……	57	2・3	36 (182)
--------------------------------	----	-----	----------

懇談会

〈マスコミとの懇談会〉

令和2年度第1回マスコミとの懇談会「新型コロナウイルス感染症について」 ……………理事 城間 寛 ……	57	6・7	44 (352)
--	----	-----	----------

座談会

新型コロナウイルス各地区医師会の取組について……………理事 久貝 忠男 ……	57	6・7	50 (358)
--	----	-----	----------

発言席

子宮脱について……………沖縄県立北部病院 産婦人科 諸井 明仁 ……	57	10・11	64 (616)
------------------------------------	----	-------	----------

生涯教育

アフターコロナでも使える補助循環の基礎知識 – ECMO・PCPSの基本的な考え方 – ……………医療法人おもと会大浜第一病院 心臓血管センター循環器内科 前田 武俊 ……	56・57	12・1	40 (40)
クローン病について……………友愛医療センター 眞喜志知子 ……	57	2・3	39 (185)
フレイルの代謝的側面 Reverse metabolic syndrome ……………豊見城中央病院循環器内科/福岡大学医学部衛生公衆衛生学 井上 卓 ……	57	4・5	29 (261)
成人の注意欠如多動症 (ADHD) の診断と対応 ……………琉球大学大学院精神病態医学講座 近藤 毅 ……	57	6・7	68 (376)
急性腎障害 (AKI) ～ Cre 0.3mg/dl 上昇、見落としていませんか?～ ……………琉球大学病院 血液浄化療法部 座間味 亮 ……	57	8・9	38 (478)
生涯学習コーナーのハガキによる上位申告者36名に記念品(図書カード)贈呈! ……	57	10・11	43 (595)
重症呼吸不全に対する人工呼吸管理 ～新型コロナウイルスを含む最近の話題～ ……琉球大学病院集中治療部 淵上 竜也 ……	57	10・11	44 (596)

プライマリ・ケアコーナー

クリニカルパスについて……………那覇市立病院内科 旭 朝弘 ……	57	10・11	51 (603)
----------------------------------	----	-------	----------

インタビューコーナー

Vol. No. 頁 (通巻頁)

琉球大学病院周産母子センター 教授 銘苺 桂子先生 インタビューアー 広報委員 藏下 要	56・57 12・1	46 (46)
沖縄県立中部病院 院長 玉城 和光先生 インタビューアー 広報委員 玉井 修	57 4・5	35 (267)

月間 (週間) 行事お知らせ

HIV 感染症と新型コロナウイルス感染症 失われた沖縄の宝とは 沖縄県立南部医療センター・こども医療センター 感染症内科 成田 雅	56・57 12・1	50 (50)
輸血関連情報カードの利用推進活動 (はたちの献血キャンペーンに因んで) 沖縄県赤十字血液センター 学術情報・供給課 平安山睦美	56・57 12・1	53 (53)
世界腎臓デーによせて「腎臓移植の未来～再生医療はどこまで進んでいるか？」 友愛医療センター 大田 守仁	57 2・3	44 (190)
「世界結核デー (3月24日)」に寄せて 独立行政法人国立病院機構沖縄病院 呼吸器内科 仲本 敦	57 2・3	46 (192)
タバコを吸う大学生との対話～世界禁煙デー (5/31) に因んで～ 名城大学国際学群上級准教授・病理専門医 大城真理子	57 4・5	38 (270)
日本肝炎デーに因んで 肝細胞癌の治療..... 那覇市立病院 宮里 賢	57 6・7	65 (373)
「救急の日・救急医療週間」に寄せて 中部徳洲会病院 救急集中治療科 友利隆一郎	57 8・9	44 (484)
結核予防週間 (9/24-9/30) に因んで 琉球大学病院 総合臨床研修・教育センター 原永 修作	57 8・9	46 (486)
「骨と関節の日 (10/8)」に寄せて..... 琉球大学整形外科 教授 西田康太郎	57 10・11	56 (608)
ピンクリボンのない秋に..... 浦添総合病院 乳腺センター 宮里 恵子	57 10・11	58 (610)
臓器移植普及推進月間によせて ～琉球大学病院消化器・腫瘍外科の取り組み～ 琉球大学病院消化器・腫瘍外科 大野慎一郎	57 10・11	60 (612)
医療事故における「安全の文化」と「報告の文化」..... 理事 久貝 忠男	57 10・11	61 (613)
「乳幼児突然死症候群 (SIDS) 対策強化月間 (11/1～11/30)」に寄せて 琉球大学病院 周産母子センター 吉田 朝秀	57 10・11	62 (614)

新春干支随筆

丑年を迎えて..... まちだクリニック 町田 宗孝	56・57 12・1	77 (77)
囑託医..... 国吉 勲	56・57 12・1	78 (78)
地域の幸福寿命..... 沖縄県健康づくり財団 アンチエイジング棟 皮膚科 宮里 肇	56・57 12・1	78 (78)
今年の抱負 —補聴器新適合法 (選別方法) の普及— 特定非営利活動 (NPO) 法人沖縄県難聴福祉を考える会 附属診療所「補聴相談のひろば」 野田 寛	56・57 12・1	79 (79)
丑年に因んで 社会医療法人仁愛会 浦添総合病院 消化器病センター 顧問 金城 福則	56・57 12・1	80 (80)
南島の小熊楠のこと..... 田崎病院 松浦 雅人	56・57 12・1	81 (81)
Aiの担う未来は？..... 北中城若松病院 當銘 正彦	56・57 12・1	82 (82)
2021年 (丑年) への期待..... 医療法人輔仁会 山城 勝美	56・57 12・1	83 (83)
趣味・山登り..... 糸数病院 伊是名博之	56・57 12・1	84 (84)

	Vol.	No.	頁 (通巻頁)
最高の厄落としの言葉「病気をして、よかった!!」 博愛病院 心療内科 原 信一郎	56	57 12・1	85 (85)
初夢 山内耳鼻咽喉科医院 山内 盛雄	56	57 12・1	86 (86)
沖縄県における透析療法 50 年史 (OKIDS50) 沖縄県人工透析研究会 井関 邦敏	56	57 12・1	87 (87)
これまで歩んだ道を振り返って 小児クリニックたまなは 玉那覇康一郎	56	57 12・1	88 (88)
親父、おふくろ、会いに行くのはまだ先だ 中山内科医院 中山 仁	56	57 12・1	89 (89)
丑年に因んで 上里整形外科 上里 博光	56	57 12・1	90 (90)
人生はこれから? 名嘉村クリニック 名嘉村 博	56	57 12・1	91 (91)
今年の抱負 丑年にちなんで 沖縄大学健康栄養学部管理栄養学科教授 学部長兼副学長 (オリブ山病院 非常勤医師) 山代 寛	56	57 12・1	92 (92)
丑という文字 中部協同病院 小栗 英輝	56	57 12・1	93 (93)
『還暦を迎えるにあたって』 那覇市立病院 伊波 徹	56	57 12・1	94 (94)
還暦を迎えて 医療法人まごころ会 かつれん内科クリニック 勝連 英雄	56	57 12・1	95 (95)
嬉しいこと、耳順、そして感謝 沖縄県立中部病院 放射線科医 安谷 正	56	57 12・1	96 (96)
父の介護日誌 北部地区医師会病院 照屋 淳	56	57 12・1	96 (96)
還暦に思う 国立療養所沖縄愛楽園 野村 謙	56	57 12・1	97 (97)
あたいぐわー しゅくみね内科 祝嶺 千明	56	57 12・1	98 (98)
迷わず、進め! 沖縄県立八重山病院 篠崎 裕子	56	57 12・1	100 (100)
今年の抱負 自衛隊那覇病院 岩田 雅史	56	57 12・1	101 (101)
辛丑 (かのと・うし) 友愛会豊見城中央病院 福岡大学医学部衛生公衆衛生学教室 井上 卓	56	57 12・1	102 (102)
丑年に因んで いきいき耳鼻咽喉科クリニック 喜友名朝盛	56	57 12・1	102 (102)
丑年を迎えた今年の抱負 沖縄赤十字病院 外間 実裕	56	57 12・1	103 (103)
開業 15 年を振り返って 首里眼科 宮平 誠司	56	57 12・1	104 (104)
青春とはなんだ 比嘉眼科 清水 良則	56	57 12・1	105 (105)
今年の抱負 南山病院 譜久原 弘	56	57 12・1	106 (106)
4 回目の丑年を沖縄で迎えるにあたって 浦添総合病院 伊禮 俊充	56	57 12・1	107 (107)
新春干支随筆 同仁病院 山城 惟欣	56	57 12・1	108 (108)
丑年に因んで 海邦病院 整形外科 山内 貴敬	56	57 12・1	109 (109)
丑年に思う 沖縄県立八重山病院 産婦人科 白石 弘章	56	57 12・1	109 (109)
丑年に因んで 海邦病院 検診センター 比嘉 美香	56	57 12・1	110 (110)
2021 年 (令和 3 年) に向けての抱負 まかび 心のクリニック 塚田 淳也	56	57 12・1	111 (111)
辛丑とスロージョギング 国立病院機構琉球病院 副院長 大鶴 卓	56	57 12・1	112 (112)
FIRE への道は険しい みなみそら医院 長岡研太郎	56	57 12・1	113 (113)
肉体改造計画 諸見眼科 長嶺 紀良	56	57 12・1	114 (114)
大検予備校残照 沖縄協同病院小児科 尾辻 健太	56	57 12・1	115 (115)
この 12 年を振り返って 社会医療法人敬愛会 ちばなクリニック 健康管理センター 医長 清水 隆裕	56	57 12・1	116 (116)

	Vol.	No.	頁 (通巻頁)
丑年にちなみまして 沖縄移住 8 年、これまでとこれから 友愛医療センター 小児科 内川 俊毅	56	57	12・1 117 (117)
漢方について思うこと F クリニック沖縄 多和田利香	56	57	12・1 117 (117)
ジェネラル診療ができる消化器内科医を目指して 浦添総合病院 病院総合内科 末松 聡史	56	57	12・1 118 (118)

緑陰随筆

「緩和ケア病棟」へ勤めて アドベンチスト・メディカルセンター緩和医療科医師 與儀實津夫	57	8・9	68 (508)
幸の青い鳥『ホールインワン』の夢 さんだん花グループ/ 統合医療センタークリニックぎのわん 天願 勇	57	8・9	69 (509)
父の思い出 (白い粉の秘密) 牧港中央病院 國吉 眞行	57	8・9	70 (510)
患者さんの人生から学ぶ 小禄病院 高江洲良一	57	8・9	71 (511)
『兵どもが夢の跡：嗚呼!! 中部病院研修医時代』 友愛医療センター 呼吸器 内科 松本 強	57	8・9	72 (512)
沖縄移住して思うこと 医療法人球陽会 海邦病院 内科 田中 新司	57	8・9	73 (513)
人材育成 国立病院機構沖縄病院 院長 九州ウエイトリフティング連盟 会長 沖縄県ウエイトリフティング協会 会長 川畑 勉	57	8・9	74 (514)
ナパバレーに寄せて きんクリニック 高良 和代	57	8・9	75 (515)
久米島で起こったこと とよみ生協病院 高嶺 朝広	57	8・9	77 (517)
〜的外れかもしれませんが、言わせて下さい〜 恩納クリニック 玉城 徳光	57	8・9	78 (518)
お礼 沖縄病院外科 河崎 英範	57	8・9	78 (518)
シンデミックにはポピュレーション戦略 群星沖縄臨床研修センター 徳田 安春	57	8・9	79 (519)
ただいま専攻医 3 年目! 名嘉村クリニック 當山 和代	57	8・9	80 (520)
「へえ〜」な事 徳山クリニック 知念さおり	57	8・9	81 (521)
『少年』と私 琉球大学病院 玉那覇民子	57	8・9	82 (522)
ひとの生き方・逝き方で思うこと 沖縄第一病院 渡嘉敷かおり	57	8・9	83 (523)
趣味と言えば 愛誠園クリニック 平良 民子	57	8・9	84 (524)
インド旅行記 吉クリニック 富山のぞみ	57	8・9	85 (525)
10 年目を迎えたハワイ沖縄医学教育フェローシップ 琉球大学病院 地域・国際医療部 武村 克哉	57	8・9	87 (527)
診療雑感 中部協同病院 照屋 葵	57	8・9	87 (527)
精神科病院で内科医が身体合併症を診ること 平安病院 内科 田中 寿幸	57	8・9	88 (528)

随筆

「撮った写真に買手がついた」記 久田病院 小椋 力	57	2・3	72 (218)
東日本大震災から 10 年 岩手県大槌町を訪ねて 那覇市医師会 長嶺 信夫	57	2・3	74 (220)
電気を使わずご飯が炊ける「メスティン」ご存知ですか? 大浜第一病院 野原 博和	57	4・5	58 (290)
「コロナ」に耐えて 城間医院 城間 政州	57	6・7	96 (404)

総目次

	Vol.	No.	頁 (通巻頁)
カルロス・ゴーンとホセ・ムヒカ …… うえむら病院 山内 昌紀 ……	57	6・7	97 (405)
“笑い” から “川柳” へ …… 中部病院 依光たみ枝 ……	57	6・7	98 (406)
ハブについて PICO で書く ～プライマリ・ケアの臨床研究への期待～ …… 沖縄赤十字血液センター 久田 友治 ……	57	6・7	100 (408)
ハーモニカを始める …… 宮里眼科 宮里 章 ……	57	6・7	101 (409)
肥大型閉塞性心筋症のお話 - Morrow 家の驚くべきストーリー - …… 友愛医療センター循環器内科 平田 一仁 ……	57	6・7	102 (410)
腎がん 前立腺がん 膀胱がん…徒然なるままに 個性的な泌尿器科悪性 腫瘍たちを司る多様性の泌尿器科 …… 南部徳洲会病院 向山 秀樹 ……	57	6・7	105 (413)
心の予防接種 …… 医療法人南嶺会 勝連病院 宮平 綾子 ……	57	6・7	107 (415)
魂が欲すること …… 友愛医療センター外科 仲地 厚 ……	57	6・7	108 (416)
若い友への手紙 …… 城間医院 城間 政州 ……	57	10・11	86 (638)
ICT について思うこと …… 医療法人八重瀬会同仁病院 山内 裕樹 ……	57	10・11	88 (640)

追悼文

医療法人信和会・沖縄県医師会・全国医師国民健康保険組合連合会 故 宮城信雄 先生 合同葬 …… 常任理事 照屋 勉 ……	57	10・11	2 (554)
宮城信雄 先生の思い出 …… はえばる皮ふ科医院 江夏 力 ……	57	10・11	8 (560)
宮城信雄 先生との思い出 …… 沖縄県医師会元副会長 那覇西クリニックまかび 玉城 信光 ……	57	10・11	9 (561)
宮城信雄 先生との思い出 …… 副会長 宮里 達也 ……	57	10・11	11 (563)
『宮城信雄 先生を偲ぶ!』～「起きて半畳!寝て一畳!」～ …… 常任理事 照屋 勉 ……	57	10・11	12 (564)
恩師 比嘉弘文 先生を偲んで …… 医療法人水晶会 安里眼科 理事長 安里 良盛 ……	57	10・11	14 (566)

広報委員の新春の挨拶

いつもと違う新春に思う …… 広報担当理事 久貝 忠男 ……	56・57	12・1	139 (139)
新年のご挨拶 …… 広報副担当理事 城間 寛 ……	56・57	12・1	139 (139)
広報委員新年あいさつ …… 広報対外副担当理事 白井 和美 ……	56・57	12・1	140 (140)
辛丑の年を迎えて …… 広報委員 (北部地区医師会) 出口 宝 ……	56・57	12・1	141 (141)
米国大統領が替わって …… 広報委員 (中部地区医師会) 古堅 善亮 ……	56・57	12・1	142 (142)
繋がりを求めて …… 広報委員 (浦添市医師会) 藏下 要 ……	56・57	12・1	142 (142)
ウイズコロナの正月 …… 広報委員 (那覇市医師会) 玉井 修 ……	56・57	12・1	143 (143)
『更参三十年 (更に参ぜよ!三十年!)』…… 広報委員 (南部地区医師会) 照屋 勉 ……	56・57	12・1	143 (143)
新年への期待 …… 広報委員 (国療沖縄公務員医師会) 久志 一郎 ……	56・57	12・1	144 (144)
新年のご挨拶 (2021 年) …… 広報委員 (琉球大学医師会) 屋良さとみ ……	56・57	12・1	145 (145)
2021 年新年の挨拶 …… 広報委員 (那覇市立病院医師会) 間仁田 守 ……	56・57	12・1	145 (145)

編集後記	Vol.	No.	頁 (通巻頁)
..... 広報委員 間仁田 守	57	2・3	86 (232)
..... 広報委員 出口 宝	57	4・5	76 (308)
..... 広報委員 白井 和美	57	6・7	132 (440)
..... 広報委員 屋良さとみ	57	8・9	112 (552)
..... 広報委員 藏下 要	57	10・11	106 (658)

〈以下のコーナーについては、ページ等の詳細は省略いたします。〉

会務のうごき (会長・副会長室、理事会)、講演会・例会のご案内、会員の動き、

産業医研修会のご案内、医療勤務環境改善支援センターからのお知らせ、

沖縄県ドクターバンクからのお知らせ、日本医師会「医師年金」のご案内、

沖縄県文化観光スポーツ部観光振興課からのお知らせ

お知らせ

暴力団追放に関する相談窓口

暴力団に関するすべての相談については、警察ではもちろんのこと、当県民会議でも応じており、専門的知識や経験を豊富に有する暴力追放相談委員が対応方針についてアドバイスしています。

暴力団の事でお困りの方は一人で悩まず警察や当県民会議にご相談下さい。

●暴力団に関する困り事・相談は下記のところへ

受付 月曜日～金曜日 (ただし、祝祭日は除きます) 午前10時00分～午後5時00分

TEL (098) 868 - 0893 なくそうヤクザ 862 - 0007 スリーオーセブン

FAX (098) 869 - 8930 (24時間対応可)

電話による相談で不十分な場合は、面接によるアドバイスを行います。

「暴力団から不当な要求を受けてお困りの方は……悩まずに今すぐご相談を (相談無料・秘密厳守!)」

財団法人 暴力団追放沖縄県民会議

生涯教育／プライマリ・ケア

- 字数制限
生涯教育 6,000 字以内とし、冒頭に 400 字程度の要旨をつけて下さい。
プライマリ・ケア 2,500 字以内
(図表 1 枚を 400 文字数に換算する必要がある)
- 内容
生涯教育は、原則学術・実地医家にとって有用性の高い総説論文
プライマリ・ケアは、病診連携、病病連携等に資していただけるような、日常的な症状に関するミニレクチャー的な内容。
- 原稿の書き方
 - ①原稿はできるだけ Word、Excel、PowerPoint にて作成して下さい。
 - ②原則として常用漢字、現代かな使い、算用数字を使用して下さい。
 - ③図、表、写真の挿入場所を文中に指定して下さい。
 - ④図表にはタイトルをつけてください。
 - ⑤写真、図、表は原則として 10 枚以内とし、そのまま製版出来る鮮明なもので、特に写真は明瞭なものでご提出下さい。
 - ⑥人を対象とした研究については、ヘルシンキ宣言を遵守したものであること、また症例を提示する際（症例報告）は、患者さんのプライバシーの保護やインフォームドコンセントなどに関する倫理的な問題に十分配慮されていること。
個人が特定され得る疾病に関しては、本人の同意を得るようご配慮下さい。
- 文献
引用文献は最小限度（原則として 10 以内）とし、論文中にでてくる順に番号をつけ、末尾に以下の形式で一括して下さい。本文中には、引用部の右肩に 1) 2) 3) …の番号を付して下さい。引用の図表は出典を明記して下さい。
著者は複数の場合は筆頭者、他で記入下さい。
引用文献の記載項目並びに順序
- 雑誌の場合
著者名：論文題名. 雑誌名 発行年；巻：ページ。
Ahonkhai VL, et al : Failure of pneumococcal vaccine in children with sickle-cell disease. N Engl J Med 1979 ; 301 : 26-27.
- 単行本の場合
著者名：書名. (版数), 発行所, 発行所の所在地, 発行年；引用ページ。
Koch FC, et al : Practical Methods in Biochemistry. 2nd ed, William Willkins, Baltimore, 1948 ; 212 (or 212-215) .
- シリーズなど
執筆者名：執筆部分題名. 編者名, シリーズ名, 巻数, 発行所, 発行地, 発行年；引用ページ。
Kovec A : The liver and spleen. ed Bolinger RE, In Guide to Diagnostic Imaging, vol 1, Medical Examination Publishing Co Inc, New York, 1982 ; 123-140.
- ウェブサイトの場合
執筆者名 (編者名)：サイト名. URL (最終閲覧日)
運動器の 10 年・日本協会：学校での運動器検診の手引き. http://www.bjd-jp.org/medicalexamination/guide_0.html (2016 年 8 月 16 日閲覧)

月間（週間）行事お知らせ

- 字数制限：2,000 字以内
- 内 容：医療関係の行事等について

発言席

- 字数制限：2,500 字以内
- 内 容：会員の先生方のご意見や主張等

勤務医 / 臨床研修医

- 字数制限：勤務医 2,000 字以内、臨床研修医 1,500 字以内
- 内 容：勤務医・臨床医の先生方からのご意見・ご要望

地区医師会

- 字数制限：1,000 字以内
- 内 容：各地区医師会の活動状況
(例：テレビ番組やラジオ番組の放映、かかりつけ医推進事業等の厚労省モデル事業や独自の院内活動等)

若 手

- 字数制限：1,500 字以内
- 内 容：今後の進路を決める先生方へのアドバイス等について（若手医師への提言、日常診療のコツ、開業顛末記等）

随筆 / 新春干支随筆 / 緑陰随筆

- 字数制限：随筆 2,500 字以内、新春干支随筆・緑陰随筆 1,500 字以内
- 内 容：日常診療のエピソード、青春の思い出、一枚の写真、趣味などの他、紀行文、特技書評、新年の抱負など

本の紹介

- 字数制限：1,500 字以内
- 内 容：感動した、生き方が変わった、診療が変わった、新たに真実を知った本等々、会員の皆様の座右の本の紹介

いきいきグループ紹介

- 字数制限：1,000 字以内
- 内 容：各研究会、スポーツ同好会や摸合等の活動紹介

身近な闘病記

- 字数制限：2,000 字以内
- 内 容：ご自身又はご家族の病気療養の経験談について

追悼文

- 字数制限：1,500 字以内
- 内 容：お亡くなりになられた先生への追悼

広 告

- 沖縄県医師会報の品位、及び体制を損なわぬものとし、採否については広報委員会で審議のうえ決定する。

投稿の方法

1. 会報への投稿の第一執筆者は、原則として沖縄県医師会会員であること。
2. 原稿には題名、氏名、勤務先(所属)を明記して下さい。
3. 図・表・写真は原則モノクロ掲載とし、カラーの場合は実費をご負担願います。
4. 送付方法は出来ましたらメール送信又はCD-R等での送付をお願いします。
5. 同一会員の原稿掲載回数は、1期(4～7月号)、2期(8～11月号)、3期(12～3月号)の各期ごとに1編のみ。
6. 写真の解像度は350以上をお願いします。表紙写真に関しては、会員本人撮影のものとする。
7. 掲載の採否は広報委員会で決定し、内容によっては原稿の修正等をお願いする事があります。

著作権

本誌並びにホームページに掲載される著作物の著作権は沖縄県医師会に帰属します。

送付先・問い合わせ先

沖縄県医師会 庶務課
〒901-1105 南風原町新川 218-9
TEL：098-888-0087 FAX：098-888-0089
E-mail：kaihou@ml.okinawa.med.or.jp

平成 29 年 7 月 1 日より



寅年にかける希望！

広報担当理事
久貝 忠男

「国家や世界規模で人の流れを止めるとどうなるか?」。まるでパンドラの箱（甕）を開けたかのように、あらゆる災厄がまき散らされた。われわれは苦難を引き受けたが、箱の底に残った「希望」はわれわれに生きる力を与えてくれた。きっと100年に一度の災厄にはそんな仕掛けが用意されていると思わざるを得ない。

一つにコロナ禍で日本医療の構造的問題が浮き彫りとなった。医療改革は応急処置の繰り返しで、しわ寄せはいつも医療の現場や国民に向かっている。コロナ患者の受入れ実績は急性期病棟を有する医療機関の34%、二次医療圏に限れば救急医療施設の40%で、思うように増えず、“名ばかり”と揶揄された。世界一、病床が多いのに元々有事の急性期医療に十分対応できないことが顕在化した。構造的問題には構造的に対処する必要がある。ゆえにもう一度「地域医療構想」を再認識する必要がある。

地域医療構想には病院再編が必須であり、「私の病院はこれを診るから、あなたはあれを診て!」そして「うちはこういう病床に特化する」と役割を決める。すなわち、病床機能の分化、病院間の連携強化や集約化である。しかしながら「総論賛成、各論反対」が多い中で、コロナ病床の確保問題と同様に合意形成がとても難しい。でも確実な未来は2025年に団塊の世代が全て後期高齢者となり、医療・介護のニーズが著しく増大することである。日本は少子高齢化が加速し、さらに多死社会へと移行して総人口が減少する。コロナ禍でも音もなく忍び寄っている。高齢者は複数の疾患や合併症を抱えているため、治療後も必要とされる医療が若い世代とは異なる。これからは「治すから支える医療」

へとシフトしなければならない。急性期から介護、在宅、見取りまで「病院から地域へ」、その実現には「地域包括ケアシステム」の実現が欠かせない。それを可能とする手段が「地域医療構想」である。

コロナ禍を契機に「地域医療構想」を進め、かつ平時と緊急時で医療提供体制を迅速かつ柔軟に切り替える仕組みを構築すべきだ。かかりつけ医機能の強化をはじめとした平時の医療機能提供体制を改革し、緊急時では強力な体制と司令塔の下で対応する。コロナ禍は最悪のケースではなく「見直しの最後のチャンス」なのだ。

二つ目はコロナ禍を機に世界各地でオンラインへの移行が進み、遠隔医療（テレメディスン）を本格的に発想する絶好の好機になっている。島嶼県沖縄、特に北部のような医療体制のインフラが不十分な地域こそ、普及が進む可能性が高い。①僻地・離島に対する医療支援、②テレパソロジー（遠隔病理診断）、③テレラジオロジー（遠隔画像診断）、④テレホームケア（在宅医療支援）⑤テレサージャリー（遠隔手術）⑥テレカンファレンス（遠隔会議）など、枚挙にいとまがない。さらに5G、6Gになればタイムラグがほぼ無くなり、遠隔医療は単に医療機関同士だけでなく、在宅医療の支援もリアル感も持って行えるようになり、その可能性は無限である。

「誰一人取り残さない」、「すべての人に健康と福祉を」。SDGs（持続可能な開発目標）は医療格差がない社会を目指す。その医療格差の淵源は医師不足である。大都市と地方都市、地方でも都市部とへき地。医師数増加に一定の目途はついたが医師の地域偏在、診療科偏在はなかなか解消されない。これからは医師誘導、特に若い人にはへき地でのキャリア形成が途切れないようにICTを駆使し、エキスパートの手術、指導が遠隔で受けられるようにすること、さらに、地域医療構想で病院の機能を明確にして、各人に合うやりたい医療を提示することである。そうすることで医療格差のないSDGsがかなう。企業ではSDGsを考慮しないと生

き残ることは厳しいと言われる。箱に底に残った「希望」は社会を、医療を変える可能性が高い。新春に込めた強い思いである。



新年のご挨拶

広報副担当理事
稲富 仁

明けましておめでとうございます。昨年も新型コロナウイルス感染症一辺倒でした。医療界というか世界中が大パニックになり、予定していたものとは全く異なる一年だったと思います。私はそんな最中に県医師会理事を拝命され広報委員になることになりました。催し物や各種会議も中止やWEB会議やハイブリッド会議になり、まだ勝手がわかりませんが今後先生方に執筆依頼のご連絡をすることもあると思いますので、この場を借りて改めてご挨拶させていただきます。

この文章を書いている時期の日本では新型コロナ感染者数が奇跡的に減少し、自粛も徐々に解除され、かつての日常が戻りつつあります。先進諸国の中でもワクチン接種率が高いことや日本人の真面目な国民性に基づきみんなが律儀にマスクを着用し密な接触を避けたからなどと解釈されているようですが、実際のところはなぜこんなに急激に減少したのかはわからないようです。

しかしながら、いくら情報過多社会とはいえ、こんなにも情報に惑わされたことはないような気がします。マスクひとつに関しても色々な人が様々なことを言っています。私が興味を持ったのは欧米諸国と日本のコミュニケーションの違いでした。「目は口ほどに物を言う」と言うように日本人は目で気持ちを表現することが多く、サングラスを掛けた人を怪しいとか怖いと感じるし、人と会話する時にはサングラスを外するのが常識である。しかしながら欧米諸国の人は口元で感情を表現する傾向が強く、マス

クで口元を隠すとコミュニケーションが取りづらいう。そのためアメリカ物のヒーローなどは被り物をして口元だけは出ていることが多いらしい。確かめてはないがそうだったような気もする。またSNSにおける顔文字で感情を表現するために、日本では目付きの変化が主であるがアメリカでは口元の変化が主であると言う。個人的にはかなり説得力のある解釈だと感じた。となるとマスク着用率が高い日本は真面目さというよりも心理的に抵抗が少なく、社会生活上も不便や怖さを感じないというのが主な理由かもしれない。これがみんなサングラスで目を隠さなければいけないという感染症であれば、かなり不自由さや拒否感もあったのではないだろうか。

また、赤ちゃんが感情を読み取れるようになる言語を獲得するなどの発達過程においてマスク社会が障害となる可能性について語る心理学者もいる。この時期の赤ちゃんがどう成長するのか心配である。

なんにせよ、新年号が発刊された頃に第6波なるものが来ないまま、自粛なしの生活が送れていることを願っている。今年こそは顔全体で喜怒哀楽を表現したい。



広報委員 新年のあいさつ(2022)

広報対外副担当理事
白井 和美

あけましておめでとうございます。本年もよろしく願いいたします。

令和4年、新元号になり早や4年目。まだまだ慣れないのは私だけでしょうか。新しい時代について行くのに苦労しているからかもしれません。新型コロナウイルス感染症の影響で、最近ではWEB会議が日常となりましたが、IT機器に慣れると以前ほど不便は感じなくなりました。一方、日々新たに更新される膨大な情報は、WEB公表が当然となり、自分が直接関係

する部分を確認するだけで手一杯です。昨年は、新型コロナワクチン接種など急遽導入された事業に協力したものの、予約業務に忙殺されたり、煩雑な接種手順に慣れず緊張が続いたり、その後の請求事務でも変更が相次ぐなど、目の前の対応に翻弄され、本当に疲労困憊の1年でした。こんな時、疲れを癒してくれるのは、ほかの人とのコミュニケーションです。WEB越しの会話にも同様の効果を求めたいところですが、表情が細部まで描出されにくく、人が近くにいる安堵感も代え難く、コロナ前が懐かしく思い出されます。三密対策のため人と会う機会は少なくなり、懇親会等が最後であったか思いだせません。そういえば、これまで結婚式の披露宴で引用されてきた、あの有名な山嵐のエピソードは、ポストコロナの時代にはどのように変化するのでしょうか。

緊急事態宣言・蔓延防止措置期間中は、基本ステイホームだったため、時間を如何に有効に使おうかと頭を悩まし、当初は動画配信サイトにアクセスしたりしましたが、今はそれにも疲れ、自分のペースでの読書が一番落ち着きます。皆様は如何でしょうか。

今年こそ、隔月発刊の会報が、早く毎月発刊に戻れます様、一日も早い新型コロナウイルス感染症の鎮静化を願いつつ、会員皆様方の今後の更なるご活躍、ご発展、ご健勝を祈念申し上げます。引き続きご指導ご鞭撻のほどお願い致します。



壬寅の年を迎えて

広報委員（北部地区医師会）
出口 宝

今年の干支は壬寅（みずのえ・とら）です。壬は核の内在するエルネギーが増大する形で、多くの問題が増大していくことを意味しているそうです。そして、それを処理するために任せられる人物が現れてこなければならぬとされ

ています。壬人（じんじん）という言葉もありますが、こちらは遠慮したいものです。また、寅には「つつしむ」「たすける」という意味もあるそうです。1962年の壬寅は日本経済の急速な発展が進む中、クレージーキャッツの「無責任一代男/ハイそれまでよ」や橋幸夫と吉永小百合の「いつでも夢を」が流行、ジャニーズ事務所が創業されるなど明るい年であったようです。

昨年の11月11日・12日にコンベンションセンターで日本臨床脳神経外科学会が開催されました（会長：故上田裕一先生、会長代行石内勝吾先生）。その特別企画で、北部の医療の特徴について話しをする機会を頂き、準備で戦後の北部医療史を調べる機会がありました。昭和29年に自由開業の割当認可制が撤廃されると多くの開業医が那覇へ移転されて、残った開業医は6名となり、介輔が地域医療の一躍を担ってこられた時代がありました。それから37年後の平成3年には医師会A会員がわずか32名で北部地区医師会病院が開設され、続いて翌年には北部地区医師会立北部看護学校が開校されたことなど、先人が築いてこられた歴史を振り返ることができました。そして、令和になり北部の歴史に新たな1ページが開かれました。県立北部病院と北部地区医師会病院が統合され、北部地域の基幹病院として公立北部医療センターが開設されます。今年は、その基本設計が始まる重要な年となります。

さて、今年は小職が広報委員を務めさせて頂き10年となります。本誌は2002年6月号から現在の毎年異なる色の帯が付くスタイルになり、2004年1月号からB5からA4サイズになって現在のスタイルが受け継がれてきました。その間、電子版化の話題が出たり、サイズの縮小や用紙の変更など、全国の各医師会の会報誌を参考にして検討が繰り返されたこともありました。ただ、毎月発行は欠かさずに続けてきましたが、コロナ禍には勝てず、多くの委員会や研修会の中止の影響もあって2020年の6月・7月から合併号となっています。しかし、各地区医師会の協力でワクチン接種が進みました。3

回目の接種も始まり、経口治療薬も認可されるなど今年はいよいよコロナ後の社会に入っていくでしょう。広報委員としての今年の抱負は、2年間で中止されていた県民公開講座や県民健康フォーラム、県民健康フェアなどの再開、会報誌の毎月発行を目指して行きたいと思います。今年も宜しくお願い致します。



2022年に期待すること

広報委員（中部地区医師会）
古堅 善亮

会員の皆様あけましておめでとうございます。今原稿を書いている時期は11月の半ばでコロナが急減しているときです。2021年はコロナで行動制限が続き、ストレスの多い年でした。2022年はどのような年になるか想像もつきません。その中で産婦人科医としてうれしいニュースもありました。それはHPVワクチンの積極的勧奨が再開されることが決まったことです。2010年に定期接種になったものの2013年、副反応がマスコミに大きく取り上げられ積極的勧奨が中止となっていました。HPVワクチンは20代から30代の若年子宮頸がんを9割近く予防できるとされています。現

在、日本では子宮頸がんの若年化と増加が問題となっており、産婦人科医の間では危機感があります。検診を受ければいいという意見もありますが、日本は検診受診率が先進国の中で特に低く、また検診で初期のがんや前がん病変である高度異形成が見つかったとしても、円錐切除などの手術が必要であり、術後の早産の増加も問題です。がんを早期に発見する2次予防より、癌にならない1次予防が患者にとってもメリットがあることは明らかです。最近世界中でワクチンの効果が確認され、スウェーデンやデンマークでは子宮頸がん（浸潤癌）の低下が確認されています。日本でも新潟や宮城などで限られた期間に接種されたワクチンが異形成を予防する効果が報告されています。根治不能な子宮頸がんや再発子宮頸がんの悲惨さを婦人科医なら必ずみてきたものです。子宮頸がんは毎年1万人が罹患し、約3千人が亡くなります。一刻も早い接種再開が望まれます。また現在、定期接種に採用されている2価と4価ワクチンは日本の子宮頸がん全体の60%に有効とされています。外国で既に使用されている9価のワクチンは90%近くの予防効果があるとされていますので、なるべく早く9価のワクチンの採用が望まれます。またHPV感染がんは子宮頸がんだけでなく、中咽頭がん、肛門がんの原因ともされています。女子だけでなく、男子も2価か4価でも接種するのが望ましいと思います。



コロナ禍の中で得られたもの

広報委員（浦添市医師会）
藏下 要

明けましておめでとうございます。コロナ禍で迎える2回目の新年となりました。昨年も密を避けるために多くの人が集まることは基本的にできませんでしたが、そのような状況だからこそ得られたこともあったように思います。

様々な会議はZoomなどを使ったオンライン会議が増え、学会もハイブリッド形式が主流となってきました。参加者と直接会うことが少なくなり残念に感じる一方で、沖縄から本土まで移動する手間と時間と費用を省けるということにメリットを感じている方も少なくないのではないのでしょうか。離島や地方で勤務されている医師の学会参加が容易になることも大きなメリットの一つでしょう。学会を運営する側にとってもハイブリッド形式にすることで参加者が増えるのであれば、この形式での学会はコロナ後もこのまま続いていくのではないかと思います。

また私たちの日常診療の中でも変化が見られます。在宅診療におけるオンライン診療が診療報酬で認められるようになり、在宅療養中患者の遠隔モニタリングシステムも普及してきています。外科領域においてもオンライン回線を使用した遠隔地での手術指導システムや遠隔操作によるロボット手術の技術も目覚ましい進歩が見られます。コロナ禍の中で急速に進歩、普及してきたこれらのシステムを上手に使っていくことが、沖縄における医療従事者の人手不足やへき地医療への対策、更には医師の働き方改革を確実に進めていく上でも今後大きなカギとなりそうです。

今年の寅年に願うこと…。ファン歴50年、プロ野球でもう16年も優勝から遠ざかっているあのチームが今年こそは日本一になってくれることです。六甲おろしを歌って今年も応援を続けます。



**那覇市医師会 presents
メディカルカフェ
絶賛放送中!**

広報委員 (那覇市医師会)
玉井 修

会員の皆様あけましておめでとうございます。昨年はコロナ禍の中、様々な変化がありました。不自由の多い一年でしたが、その様な中

でも新しくFM沖縄でラジオ番組を開始したことはとても大きな変化でした。コロナに関しての多くの情報がSNSを中心とした、やや偏りのある情報が流布され、若者を中心にそれに翻弄され正しい選択が出来なくなっているのではないかという危機感がありました。そして、医師会がしっかり社会に情報発信する機会の少なさに苛立ちを感じていました。

伝わりやすい形で、正しい情報の発信を定期的にやっていきたい。そんな思いから新番組を開始致しました。2021年8月からFM沖縄(87.3MHz)毎週火曜日午後16時25分より5分番組をオン・エアしています。テーマはコロナ感染症、コロナワクチン、ソーシャルディスタンスの拡大による心の問題、コロナ後遺症の問題など多岐に渡ります。すでに放送開始して半年になろうとしています。テーマは尽きず、ディレクターの伊是名優子さん、パーソナリティーの山城舞子さんにしっかりリードされながら毎回楽しく一生懸命に放送しています。リスナーからの反応も良く、様々な相談が那覇市医師会に寄せられています。コロナ禍の中一人一人が疎外感を感じる事無く、誰かと繋がる大切さを自覚し、無力感やお荷物感に苦しまないようにするためには私たち医師会が積極的に社会に寄り添う姿勢を示す必要があります。是非会員の皆様もお聴き下さい。





令和4年:「新年のあいさつ」
～「愛嬌力!」と「和顔愛語!」～

広報委員(南部地区医師会)
照屋 勉

あけましておめでとうございます。令和3年(2021年)は、なんとか「東京オリンピック・パラリンピック」を乗り切ることができたものの、『ワクチンパスポート』、『ブレイクスルー感染』、『ブースター接種』、『デルタ株・オミクロン株』などコロナ関連の新しいキーワードが飛び交うあわただしい年の瀬でした。令和4年(2022年)も、“COVID19 第6波”に備え、3M(密集・密閉・密接)+M(無知の知):6K(換気・検温・必ずうがい・必ず手洗い・必ず咳エチケット・回避3密)+K(距離)～この『4M+7K』を徹底的に励行し、楽しい晴れ晴れとした春を迎えたいものです。

さて、小生の「2022:今年のテーマ」は『愛嬌力』…。『和顔愛語(わげんあいご)=和やかな顔と思いやりの言葉!』という名言があります。『愛語』とは、「幸せ」・「嬉しい」・「楽しい」・「ついでに」・「ありがとう」など、周りを気遣う愛情のこもった言葉のことです。そこで、『人から好かれる人!』～①「もらうより与える!」、②「人の話を聞く!」、③「愛のある言葉を使う!」、④「笑顔がある!」、⑤「機嫌がいい!」。『人から喜ばれる人!』～いつも明るく機嫌がよくて、「愛語」を使い「感謝」が多い! from F.B.…。他にも、「運の強そうな人、愛嬌のある人を、私は採用します!」by 松下幸之助氏…。「人間の最大の罪は“不機嫌”である!」by ゲーテ…。「悲観は気分! 楽観は意志! どんな時も上機嫌でいるように!」by 小林正観氏…。つまり、いつも元気で機嫌よく、ニコニコワクワクしながら笑顔でいれば「幸」も「福」もついてくるはずです。

コロナにも負けず、軽石にも負けず、『愛嬌力』、『傾聴力』、『俯瞰力』を磨きながら「おか

げさま!おかげさま!」と感謝して、晴れ晴れとした笑顔で『愛語』を発信していきたいと真面目に考えております。「人事を尽くして天命を待つ!」のではなく「天命にまかせて人事を尽くす!」by 齊藤一人氏…。今年もゆたしくゆたしくお願い申し上げます。



新年への期待

広報委員
(国療沖縄公務員医師会)
久志 一朗

あけましておめでとうございます。

2021年は、新型コロナウイルス感染症の状況に一喜一憂していました。旅行などは出来ませんでした。何とか日常の中に楽しみを見つけようとしていた自分がいました。食べ物のテイクアウトやデリバリー、家具のDIY、刈払機で隣の草を刈ったり、2サイクルエンジンをオーバーホールしたり、性格上やり始めるのに時間は要したがどれも予想以上に楽しかった。多少、お金もかかるけれど小遣いの範囲内で用具や部品を注文し機械を修理して動いた時は感動してしまった。困ったのは、注文した品物が忘れた頃に届いたり、値段が通常より跳ね上がって高額になっていたこと。また、ねじのような小さな部品まで輸入に依存しており、コロナ禍の影響と自国のモノづくりの現状を目の当たりにした一年でした。

新型コロナウイルス感染症は、メディアで報道されるように仕事の仕方や生活様式などにさまざまな影響を及ぼしています。良い変化も起こしていると感じつつ、今年も楽しみを見つけたいと思っています。

2022年は、「壬寅(みずのえとら)」。「壬寅」は、冬が厳しいほど春は生命力に溢れ、華々しい年になるとのこと、とても期待出来るような気がしています。



【新春のご挨拶(2022年)】

広報委員 (琉球大学医師会)
屋良 さとみ

明けましておめでとうございます。やはり2021年もコロナ禍に明け暮れ、医療崩壊同然の第5波も経験した一年となってしまいましたが、やっと2021年10月末頃になって、日本全国、沖縄県の「新規感染者数」が突如、急減し、沖縄県でもやっと11/15に1年4ヵ月ぶりの「新規感染者数“0”」となり、少々ホッと胸をなでおろしたところです。(まだ今後の年末の楽しい行事に向かう時期で、決して油断は出来ませんが。また、全国では「新規感染者数“0”」が約1ヵ月間も持続出来ている県もあるのに、なぜ沖縄県は「新規感染者数“0”」の日が継続できないのでしょうか。)

但しこのコロナ禍、皮肉にも、コロナ禍以前にはあまり实际的でなかった「画期的な良い面」も幾つか生み出してきたのは事実です。最たるものは「web環境」ではないでしょうか。2020年の緊急事態宣言が出され、職場出勤も学校への登校も制限され、「在宅勤務、在宅講義」等を開始せねばならなかった時期、その環境を構築せねばならなかった皆さんは大変なご苦労をされたことでしょう。しかし時間が経過し、「web会議・勤務・講義」の方法・技術も改善・進歩し、かなり日常的な風景となり、以前は「対面」でしか行っていなかった全ての事柄に、「web会議・勤務・講義」という重要な選択肢をしっかりと加えることが出来た、選択肢の幅が広がったと思います。(今後の世界でも活用・選択出来るかと思えます。)

また学会や研究会も「web参加」という選択肢が増え「ハイブリッド開催」が日常となり、時間や費用を費やし会場に赴かなくとも(沖縄から本土への移動なら、なおさら)、普段の自宅や職場に居ながらにして、学会や研究会での“最先端で興味深い講演・講義等”が視聴出来る、という利点

を人類は獲得出来た、としみじみ感じる日々です。

また、情報getの面だけでなく、多数ある「会議」の類に関しても同様です。どうしても「対面会議」をせねばならない重要会議はしっかり行い、時間と費用をかけて集合せずとも可能な会議は「web会議」で行ってよいかもしれません。

医師教育機関である琉球大学勤務の私も、それらの点を度々感じております。今後、各分野の会議・勤務・講演・講義等が、最も適切な方法にて実施・開催されることを願っております。



2022年 新年の挨拶

広報委員 (那覇市立病院医師会)
間仁田 守

明けましておめでとうございます。

昨年も1年中コロナに振り回され、あっという間に1年が過ぎてしまいました。そんな中で、開催に関しては賛否両論であったTOKYO 2020オリンピックでしたが、無事開催され、多くのアスリートのパワーに魅了されました。

この「新年の挨拶」には、毎年新しく始めたことを書いていますが、一昨年は、自分では何も始められませんでしたので、昨年の新年の挨拶には「新しいことを2つ以上始めてみようと考えています。」と書きましたが…。夏頃から毎日カスピ海ヨーグルト(腸内細菌叢を意識)を食べるようにし、12月になって遠近両用コンタクトにチャレンジしてみたことぐらいでした。

今年の干支は壬寅であり、「壬」は「妊に通じ、陽気を下に妊(はら)む」、「寅」は「蟻(ミミズ)に通じ、春の草木が生ずる」という意味があります。そのため「壬寅」は厳しい冬を越えて、芽吹き始め、新しい成長の礎となるイメージだそうです。

今年こそコロナの影響が落ち着き、新しいことをたくさん始められる一年にしたいと思います。

健康長寿おきなわを取り戻し、健やかなる地域包括ケアが行えるように、今年も県医師会の先生方と共に頑張りたいと思います。